

近代英語協会第 33 回大会

日時：2016 年 6 月 25 日（土）

場所：安田女子大学 5 号館 2 階 5206 教室

〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 6-13-1

TEL 082-878-8111（代表）

受付開始 9:10

開会の辞 9:50-10:00

会長 関西外国語大学教授 菊池繁夫

シンポジウム 10:00-12:00

『近代英語研究における辞書・データの使い方』

司会：福山大学教授 中尾佳行

「初期の英語辞書(1604-1721)—難語辞書から一般語辞書へ—」

講師：山口大学名誉教授 和田 章

「言語・文体研究への貢献—辞書、CD-ROM、Online、
そして Dickens Lexicon Digital—」

講師：熊本学園大学教授 堀 正広

「-ly 副詞の盛衰—1810 年から 2009 年までの通時的変化の記述—」

講師：立命館大学教授 滝沢直宏

総会 12:40-13:10

研究発表

第一部 13:15-15:15

司会：日本大学教授 保坂道雄

1. 「英語史における動詞群の優勢語順の量的変化について」

筑波大学大学院生 長田詳平

司会：大阪学院大学教授 服部義弘

2. 「楽譜から読み取れる 16 世紀から 18 世紀の音節数の
変化を伴う発音変化」

愛知県立芸術大学非常勤講師 榎山陽子

3. 「中英語・近代英語初期におけるクレオール語化における
リズム構造—OCP 制約による最適性理論の観点から—」

宮城教育大学教授 西原哲雄

第二部 15:25-16:45

司会：広島修道大学教授 福元広二

1. 「小説における知覚レベルの意識描写」

広島大学大学院生 重松恵梨

2. 「ディケンズの作品における慣用連語の独創性に関する一考察」

近畿大学准教授 西尾美由紀

講演 17:00-18:00

『イディオムと語義の変遷』

司会：三重大大学教授 西村秀夫

講師：岡山理科大学教授 地村彰之

閉会の辞 18:05-18:10

安田女子大学教授 中川 憲

懇親会 18:30-20:00

会場：学生食堂まほろば（まほろば館 1 階）